

南紀白浜コミュニティ放送株式会社
令和3年9月期 番組審議会の報告

放送事業者は、放送番組の適正化を図るために定期的に番組を審議する番組審議会を行うことが、「法
送法」で定められています。FM ビーチステーションでも、白浜町在住の9名の委員によって委員会を開
催しています。令和3年9月28日に開催されました番組審議会の内容の一部をご報告します。

委員長：各委員からのご意見や感想をお願いします。

委 員：ゲストの方々の白浜へ来てほしい、白浜を盛り上げたいという思いがよく伝わってきた。

委 員：この放送は白良浜全体で流れているのですか？

事務局：浜のトランペットスピーカーは使用せず、サテライトスタジオ周辺のみで聴けるようになってい
ます。

委 員：ビーチステーションの番組で毎回思うが、ゲストでライフガードなど専門的な人の言葉を聴ける
のはラジオ番組の強みだと思う。専門的な人の出演は今後も続けてほしい。

委 員：ラジオの良いところは、神経が目と耳に分散されるテレビに比べてラジオは神経が耳に集中され
るので、より話の内容が記憶に残ることだと思う。

委 員：パーソナリティのテンポが良く聴きやすく、ゲストの話も楽しく聴けた。海水浴場という放送場
所に合った啓発・注意喚起があったのもいい番組だと思った

委 員：パーソナリティの声が夏の海に合っていた。ライフセーバーの話はピリッとした瞬間もあり、メ
リハリのある番組だった。
夏季だけでも看板等を設置すれば、もっと観光客に聴いてもらえるのではないかな？

事務局：今後検討させていただきます。

委 員：例年あった海水浴客へのインタビューが無い代わりに音楽が流れ、バタバタしておらず家では聴
きやすい番組だった。啓発・注意喚起は長すぎて怖さを覚えるほどだった。

委 員：コロナ禍でも毎年恒例のこの番組が聴けて安心した。

委 員：ラジオは畑でも聴ける。これからラジオの良さが見直される時期がくるのではないかな？

事務局：ご審議有難うございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。